

一般社団法人 名古屋銀行協会

- ・当協会は、愛知県内に本店又は支店等の営業拠点を有する銀行を社員とする一般社団法人です。金融経済や銀行業務及び事務に関する企画等により、銀行業務の改善進歩を図り、一般経済の発展に資することを目的としています。
- ・当協会は、会館を所有し、社員およびその取引先等に対し賃貸を行なっています。

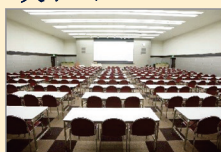
施設紹介

- ・地上5階、地下1階。2階、4階、5階は、貸会議室。年間約50千人が利用。
- ・延べ床面積～11,074.4㎡

5F	大ホール	ロビー	レストラン
4F	会議室・ロビー		
3F	事務室		
2F	会議室・手形交換室		
1F	エントランスホール・駐車場		
B1F	駐車場		

大ホール

【5F】
(全6室)



402 号会議室

【4F】
(全9室)



201 号会議室

【2F】
(全2室)



レストラン



403 号会議室



202 号会議室



改善項目：照明と空調関連コストの削減

導入前の課題

照明及び空調の効率化 (ガス空調)

- ①照明電力量の削減
- ②ガス空調コストの削減

導入後の効果

電力使用量・冬季ガス使用量の 削減及び 負荷率改善

- ①白熱電球、水銀灯は全て、蛍光灯は順次LEDへ移行により省エネ大幅改善
- ②会館の利用実態に併せ、空冷式チラーの活用による効率的な運営

受賞者の声

- ・この度、中部経済産業局長表彰を頂き、およそこうした表彰とは無縁と思っていただけに正直驚きました。また、地道ですが、知恵を絞りながら様々な省エネ活動を積み上げてきた結果が評価され、大変光栄に思っております。（ご指導いただいた省エネアドバイザーや関係者の方々に感謝しております。）
- ・今回の受賞は、大きな自信になりましたし、今後、更なる省エネの取組みを継続・強化していきたいと思っております。



改善の理由

◇会館は、築30年の建物のため、修繕コストが増大する中、徹底したコスト削減が必要。

特に、東日本大震災以降、省エネに対する社会的要請が強まってくる中、業界団体として責任ある役割をはたしていかなければならないこと。

◇省エネアドバイザーや設備管理委託業者等から様々な省エネアドバイスや提案を受け、「照明」および「空調」という省エネの取り組む方向性や具体策が明確になったこと。

改善の内容

1. 館内の全照明を調査し、コスト対効果から優先順位づけを行い、白熱電球および水銀灯については、すべてLED照明へのシフトを行なった。また、蛍光管についても順次LEDへシフト。

2. 空調については、以下の対策を実施。

①空冷式チラーの併用。(以下、改善内容及び改善効果ご参照。)

②エコチューニング(冷温水発生機水温調整、貸会議室の利用実態や外気温に合せた効率的な運用。)

③一部会議室に個別空調を導入

当館の空調設備はガス吸収式冷温水発生機2台と空冷式チラー1台が運転可能な設備であったが、運転開始当初より空冷式チラーは予備機と考えており、ほとんど運転されることが無かった。

この空冷式チラーのCOPに着目し併用運転する事で効率が上がると共に、空冷式チラーを運転する事で空調設備に係る動力を燃料ガスから電気に分散させ、大幅な削減実績につなげた。

改善の効果

1の効果(使用電力量)

改善前 328,710(kWh/年)

改善後 261,750(kWh/年)

削減量 66,960(kWh/年)

原油換算 17.5(kl/年)

2-①の効果(使用ガス量)

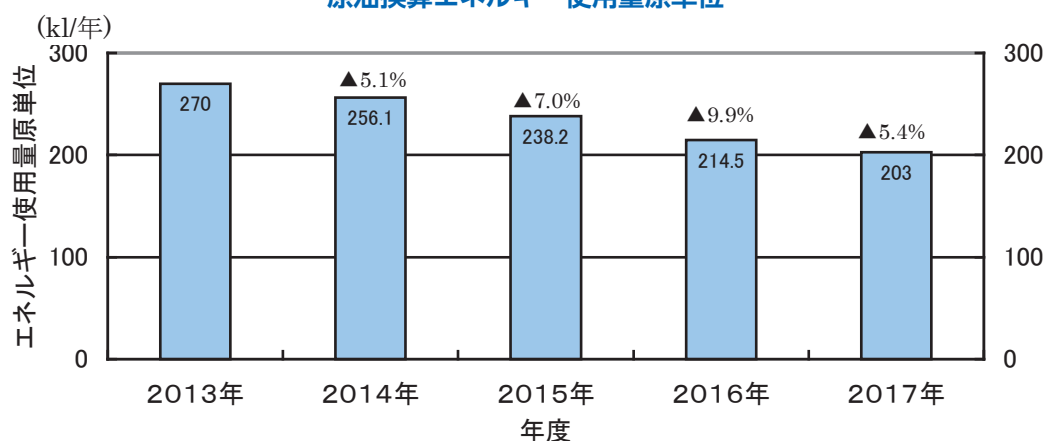
改善前 58,926(m³/年)

改善後 35,881(m³/年)

削減量 23,045(m³/年)

原油換算 26.2(kl/年)

原油換算エネルギー使用量原単位



改善の評価

改善に要した投資額 (A)		改善による効果 (B)	償却期間 但し、金利は含まず(A/B)
1	293.2万円	133.4万円/年	2.19年
2-①	0万円	197.9万円/年	0年